

# 令和元年度 伊勢地域公共交通会議 第3回 議事要旨

## ■開催概要

日時：令和元年8月29日（木） 18時30分～20時00分

場所：伊勢市役所 本館3階 委員会室

出席者：全18名

学識経験者

2名（名古屋大学大学院環境学研究科教授、  
近畿大学工業高等専門学校総合システム工学科准教授）

市民代表 3名

一般乗合旅客自動車運送事業者

2名（三重交通株式会社バス営業部部长（乗合）、  
三重県タクシー協会専務理事）

一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車運転者が組織する団体

1名（三交伊勢志摩交通労働組合 執行委員長代理）

鉄道事業者

2名（東海旅客鉄道株式会社 東海鉄道事業本部、  
近畿日本鉄道株式会社 宇治山田駅長代理）

中部運輸局三重運輸支局

1名（首席運輸企画専門官）

三重県伊勢警察署

1名（交通官）

三重県

2名（地域連携部交通政策課長代理、伊勢建設事務所総務・管理室管理課長）

伊勢市

4名（市長・産業観光部長代理・健康福祉部長・都市整備部長）

事務局

4名（伊勢市都市整備部交通政策課）

## ■議事内容

### ■ 地域公共交通再編素案について

地域公共交通再編素案について、事務局より資料を用いて説明。

資料のボリュームが多いが、1つ1つを見ていくと現況を見て考えられている。全体的な流れとしては、費用についても運行効果についても考えられているのではないかと。

二見ルートについては路線バスと重複が多いため、様子を見ながら考えていかなければならないと思う。

また、大湊地区の西側への路線バスの運行ルート追加については道路幅員を見ても運行可能であり、利用も見込めるのではないかと前向きに考えている。下野工業団地付近についても大湊線と神社線とをうまく運行していかなければならないと考えている。（一般乗合旅客自動車運送事業者）

御菌ルートについて、再編によりララパークにアクセスしなくなるが、非常に需要のある施設なので取り込んでおく必要があるのではないかと考える。伊勢市役所へアクセスしていたのを伊勢市駅へと変更することも、状況によっては不便になる可能性がある。

御菌も含めてデマンドについて、おかげバスでカバーしないところ、利用のすくないところを運行することになるのであまり印象が良くない。図には運行ルートは示されているが、エリア運行でも良いのではないか。

辻久留・藤里ルートについて、大倉うぐいす台の中まで延伸されているが、伊勢市駅までアクセスするため、路線バスと競合するのではないか。（学識経験者）

⇒ララパークについては見解が分かれている状況である。現時点では市内環状バスとの重複もあるので、検討していきたい。（事務局）

⇒市役所については、当初、御菌ルートを検討する際に伊勢市駅へのアクセスを、路線バスとの競合により断念し、やむを得ず伊勢市役所とした経緯がある。今回は、伊勢市駅へをアクセスさせ、行政手続きは支所での対応でと考えている。（事務局）

⇒デマンドについては、定時定路線型デマンドでの運行を考えている。時間帯によるエリア運行も検討したが、事業者ヒアリングの際に、対応が困難であるとの回答を得ている。（事務局）

⇒大倉うぐいす台については、朝の通勤、通学は路線バスでと考えているが、大倉うぐいす台の奥の方までは路線バスでカバーできないため、日中の買い物についてのみ、おかげバスで対応するものとしている。（事務局）

運行ルートの設定は難しいが、既存のルートで利用している方への周知が大変だと思う。再編後に運行費用が増加しているのはなぜか。（市民代表）

⇒再編後の全体的な費用については、市内環状バスの追加による影響である。現在は土日もフルで運行した場合で試算している。（事務局）

小俣町はまちが小さいため、バスではなく自転車で行ってしまう場合が多いと思う。デマンドにして縮小するのはいいことであるが、どのように変更をするのか、広報に入れるだけは見ない方もいるため、どのようにして皆さんに知ってもらえばいいのか悩ましい。特に高齢者については、デマンドにした場合、わざわざ電話して予約するのでしょうか。（市民代表）

⇒栗野ルートなど、既にデマンドで運行しており、電話予約については支障ないものと考えている。（事務局）

環状バスのチラシは非常に見やすくなった。これを使って行けばいいんだよと言っているが、高齢者にはなかなか理解してもらえない。どうやって浸透させていくのが難しい。（市民代表）

⇒高齢者の方へのアプローチは、直接寄り添って、練習会などをするのも良いと思う。（市長）

御菌地区の利用の少ないエリアをデマンドとするのはいいことだと思う。誰も乗っていない状態で運行するのであればデマンドが良い。ただ、大湊町は路線バスが運行しているのではないか。

また、デマンドに時刻表はあるのか。この時間帯にバス停に来てくださいというような対応はできないのか。

御菌ルートのララパークは、環状バスでもアクセスするので除いたということであるが、利用は多いので運行した方がよいと思う。（市民代表）

⇒大湊町の中で、路線バスが入っていけない場所をデマンドでカバーする。（事務局）

⇒デマンドについて、予約した方をバス停でタクシーが待つことになる、止まっても料金メーターは動くので難しい。エリアデマンドであれば時間も短縮できるのではないかと思う。路線型にすると、そのルートしか運行できなくなる。（一般乗合旅客自動車運送事業者）

需要に即して考えられていると感じている。路線バスについても考えていけたらと思う。（一般乗合旅客自動車運送事業者）

路線網はシンプルになって分かりやすくなったが、ダイヤの検討の中で乗り継ぎは重要となる。通院や買い物だけではなく、図書館など他の楽しみがあっても良いと思う。

トライアルが新たに追加されるが、駐車場が広いので、乗り入れが可能になれば拠点性を持たせることも可能ではないか。（学識経験者）

沼木バスのように、周辺自治体と一体となって再編することはとても良いことだと思う。協議はどの程度進んでいるのか。（中部運輸局三重運輸支局）

⇒事務局レベルでの調整は進んでいる。（事務局）

大湊地区には大湊線があり、ここだけデマンドがあらたに運行することになると、途中にもバス停を止めてほしいなど要望があった場合には、慎重に検討をする必要がある。

植山町については、そもそも需要があるのか確認をした方が良い。

デマンドは、このエリアは何分頃、こちらのエリアは何分頃など、エリア単位のダイヤを組んではどうか。あくまでも目安のダイヤとして編成し、その場合、運行ルートの線を引くのは語弊を招く可能性がある。（学識経験者）

⇒大湊地区については、意見交換会の際にも地域運行の可能性について話し合いをしたが、対応が難しいとのことであった。そこで、路線バスが入ることもできない地域については、デマンドでカバーすることで対応したいと考えている。（事務局）

⇒植山町については、通院や買い物利用は少ないが、現状でも利用者が一定程度いるので残すこととしている。（事務局）

⇒各タクシー事業者とも調整し、エリアデマンドについては、コールバックが必要になるため対応が難しいとの回答を得ている。（事務局）

今回のご意見を踏まえ、次回公共交通会議で提案するという事で承認をいただいた。

## ■ 市内循環バスの利用状況等について

事務局より、市内循環バスの利用状況等について、資料を用いて報告。

乗務員の接遇が非常に高い評価を頂いているので、運行事業者には感謝している。（市長）

この社会実験運行は順調に進んでいると思う。9月の運行見直しにより、期間も延長されるということなので良いか。

運行内容が分かりにくいという話があったが、お年寄りでもどうやったら分かりやすいかというのは今後も継続して考えていかなければならない。今回配布されているようなチラシは辞書であって、自分で調べることが前提となっている。ララパークに行くのであればこちら方面だよとか、図書館に行くのであればあちら方面だよとか、1つずつ要点だけを教えていくのも良いと思う。

バス停については、ナンバリングも考えてかなければならない。名鉄バスも進めているが、コミュニティバスと路線バスとで一体的にできれば良いと思う。

路線についても、路線バスには番号がついているが、コミュニティバスにはない。安城市では、バスの車体に大きく番号がデザインされており、どの番号に乗ればどこに行くのかを覚えれば、その大きく描かれた番号は見やすいので、分かりやすくなっている。

今度の再編の際などにそこまでできると良い。車両については、マグネットなどで対応することもできる。（学識経験者）

⇒三重交通では、行先表示の横に路線番号を表示している。バス停のナンバリングについても現在検討中である。（一般乗合旅客自動車運送事業者）

市内環状バスの利用は安定しているように見える。遠方から来ている方に乗継乗車券について聞かれる場合も多く、その際には、どのような場所に行くバスなのか説明をさせて頂いている。乗継乗車券はどの程度利用されているのか。（鉄道事業者）

⇒1月から7月までで、約1,960枚の利用があった。内訳は路線バスで41%、おかげバスで14%、おかげバスデマンドで1%、市内循環バスで44%程度利用されている。（事務局）

高齢者について、乗り継ぎなどに慣れていっていただく必要があると考えている。デマンドについても電話するのが緊張して、何を伝えれば良いのか戸惑うという話も聞いたことがあるため、一度、体験していただくのが良いと思う。（三重県）

運行期間が延長されることだけではなく、こんなに便利ですよとか、夕方まで運行していますよとか、ここも止まるようになりましたよとか、分かりやすく周知をすることが大事だと思う。また、新たにバス停が設置される地区のまちづくり協議会には、積極的に周知をしてほしい。（市民代表）

⇒老人会などの場も活用して周知を図っていきたいと考えている。また、グーグルマップでの検索にも対応しているので、学生にも検索の方法などアピールしていきたい。（事務局）

## ■ その他について

---

事務局より、伊勢まつり「バスふれあい広場」の開催について、資料を用いて報告。

一般乗合旅客自動車運送事業者より、連節バスの試走について、口頭で報告。

運転免許証の返納について、三重交通の割引制度があるが、警察署での返納の際に何のメリットがあるのか説明がなかったという話を聞いたが、どのような対応をしているのか。（市民代表）

⇒三重県での取組みについて、県のHPのコピーをお渡しして簡単な説明をしている。現在は5年までさかのぼって運転経歴証明書を発行できるようになった。（伊勢警察署）

⇒三重県のくらし・交通安全課で運転免許の自主返納制度に関連する取組みの一覧表を作成して公表している。運転免許を返納された方が利用できる制度の検討もしており、その地域にあったものを出せるようにしたい。（三重県）

⇒市の広報などでも運転免許の返納制度について特集しても良い。（市長）

⇒高齢者は広報をあまり見ない。（市民代表）

⇒伊勢まつりなどイベントの場を活用して周知するのが効果的ではないか。（市民代表）

⇒運転免許の自主返納制度のメリットの周知について、継続的に検討していく。（市長）

以上